

にしおの

食へのこだわりで 人を呼び込む

おっ!



畔柳幹也さんと吉田美香子さん

体にやさしい「食」への関心が、「健康ブーム」にも乗って全国的に高まっている。発酵食や酵素玄米など、日本の伝統的な食文化に着目した動きが幡豆地区で広がり、活気づいている。週末になれば、遠方から訪れる人であふれかえる。かつて家電メーカーに勤務していた畔柳幹也さん（東幡豆町）と、酵素玄米を研究していた吉田美香子さん（蒲郡市）は「本格的な酵素玄米ごはんを広めたい」と2年前にカフェ「酵素玄米Labo」を寺部海岸沿いにオープン。目の前に

広がる海と心地よい風の中で食事が楽しめる」と評判だ。「酵素玄米ごはん」は玄米を小豆と塩と一緒に高温高圧で炊き、保温しながら熟成させたもの。元々は病気治療のために考案された食事で、高い栄養価と消化吸収の良さが魅力だ。二人は昨年、酵素玄米を早く炊けるように工夫した炊飯器を開発。甘酒やヨーグルトなどの発酵食も作れる優れものだ。定期的に開催するワークショップには多くの人が参加。酵素玄米の手軽さと魅力を伝えている。「酵素玄米は食物繊維が豊富で栄養満点。良さを知り、日々の暮らしの中で手軽に味わって欲しい」と畔柳さん。吉田さんは「酵素玄米ごはんを発酵食と一緒に食べると、腸の調子が驚くほど良くなる。人と関わりながら、その人本来の体の感覚を取り戻すのを手



酵素玄米ごはん



宮本貴史さん

伝いたい。酵素玄米ごはんという新しい主食の形を提案していきたい」と笑顔で話してくれた。健康の秘訣は自然の恵みに思いを込めて熟成させた食事にあるようだ。代表的な発酵食「みそ」を手作りする面白さを伝えている人がいる。みやもと靴店の宮本貴史さん（西幡豆町）だ。15年ほど前、自然に囲まれて暮らしたいと幡豆に移住してきた宮本さんは、無農薬・無化学肥料にこだわった米や大豆を栽培。収穫した大豆を使い、みそを仕込むうちに、発酵の世界に魅せられて麹を作り始めた。やがて自分が作る麹に自信を持つと、靴店を営むようになった。「なくなりかけている、昔ながらの知恵や技術を取り戻したい。子どもと参加してくれば一番の食育になるはず」と宮本さん。1月から4月にかけて、みそ仕込みのワークショップを開催。自らの手で1年分のみそを仕込み、家族連れも気軽に参加できるのが人気で、4か月間で延べ1000人が参加。常滑市

から参加の前田ゆき子さんは「通い始めて4年。みんなでやるから楽しい。家族にも評判で、出来上がったらずはみそ汁でいただきたい」とこやかに話してくれた。リピート率は7割に及び、恒例行事となっている家族もあるとのこと。宮本さんは「靴店がやるワークショップだから受け入れられる。大豆から作っているから、信頼を寄せてもらえる」と自信をのぞかせる。今年から始めたしゅうゆ仕込みのワークショップも好評のようだ。「自分が食べるものは自分で作りたい。自分の感覚を信じ、新しいことにも取り組みたい」と宮本さん。食への探求心が生み出す、さらなる挑戦が楽しみだ。長年寝かせてきた思いと、食へのこだわりが、この地域に新たなにぎわいを醸成している。心と体を整える食の魅力で、今後多くの人を呼び込む。（山崎豊）



マクロレンズで撮影した米麹。
麹の菌糸が伸びている様子

三味線の調べに 思いを乗せて

三味線サークル「和みの会」



私たち「和みの会」は、平成26年に結成したサークルです。メンバーは、市内在住の40代〜70代の男性2人、女性5人の7人。毎月第2・4木曜日午後1時〜9時に、矢田ふれあいセンターを拠点に活動しています。講師は鈴木和人先生。津軽じょんがら節などの津軽民謡を中心に、日本全国の民謡や歌謡曲、先生のオリジナル曲など、幅広いジャンルの音楽を演奏しています。

矢田ふれあいセンターフェスティバルへ参加しているほか、ボランティア活動としてメンバーが住む町内で演奏などを行っています。三味線は、右手と左手の動きが違いため、脳の活性化にとっても良いといわれています。また、「サワリ」という部分から発せられる超音波は、健康をつかさどる脳の一部分に良い影響を与えることが医学的に証明されています。認知症の予防にも役立つということです。みんな楽しく稽古しています。三味線の良さを多くの方に知っていただき、仲間が増えることを心待ちにしています。

ご連絡いただければ三味線を無料でお貸ししています。どなたでも入会できますので、気軽にお声掛けください。

問 鈴木（☎090・6582・2684 / 川口町）

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当（☎65・2159）へ。



森本 健志くん
(法光寺町)

平成28年6月生まれ
車大好き！な、やんちゃ坊主。元気でたくましく育ってね。



岡田 周也くん
(西幡豆町)

平成28年6月生まれ
元気いっぱいな周也くん。お姉ちゃんと妹と
いつまでも仲良くね♡



甲田 華里菜ちゃん
(野々宮町)

平成27年11月生まれ
お兄ちゃんのまねっこ
大好きかりちゃん♡
仲良く大きくなあれ。



杉浦 颯くん
(一色町)

平成28年7月生まれ
颯がいてくれるだけで
家族みんな幸せ♡ 毎
日幸せをありがとう♡



武井 湊くん
(熊味町)

平成28年6月生まれ
2歳おめでとう。湊が
生まれてきてくれただ
けで幸せです。



大澤 芽依ちゃん
(寺津一丁目)

平成27年10月生まれ
人見知りでおてんばな
芽依♡笑顔いっぱいの
優しい子になってね♡



近藤 優晟くん
(戸ヶ崎四丁目)

平成28年12月生まれ
食べるの大好き優晟く
ん！ 優しく明るく朗
らかに育ってね。



鎌田 紡希ちゃん
(吉良町)

平成28年12月生まれ
歌と踊りが好きな紡希
ちゃん♪ 笑顔いっぱ
い元気に育ってね♡

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

西尾市史ニユース 20

資料調査 at 福井県越前町

岩瀬文庫学芸員 青木眞美

西尾藩主の大給松平氏が治めていた領地は西尾だけではありません。現在の福井県越前町にも領地が存在。支配役所である天王陣屋が設けられ、役人が行き来して治めていました。新編西尾市史の編さんにあたり、3月に越前町で調査しました。

江戸時代に大庄屋として支配に関わった内藤武左衛門家と内藤庄左衛門家の資料や、西尾藩士らの墓などを調査・撮影しました。内藤庄左衛門家では、およそ300



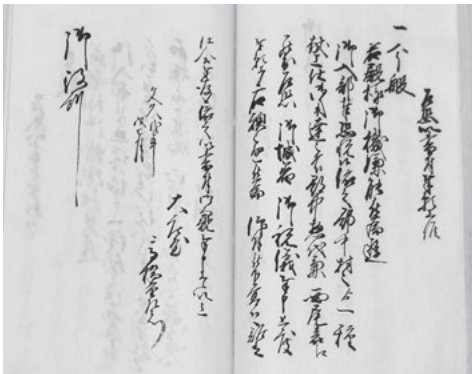
越前町の実相寺にある西尾藩士の墓

点ある古文書類に優先順位を付け、撮影と目録作成を行いました。陣屋の建て替えに関する資料や、若殿様が西尾に入部（お国入り）する際に祝儀として西尾に向かう記録などさまざま。殿様から拝領した絵なども遺されており、西尾の歴史を検証するための貴重な資料です。

越前町の実相寺にある西尾藩士の墓では、雪を踏み固めながら墓石までたどりつき、なんとか撮影できました。

今回、現地に直接赴いたことで、西尾とは違う厳しい環境を目の当たりにしました。西尾から向かった役人たちは慣れない寒さや雪と格闘しながらも、この地を治めていたのだと改めて考えさせられました。今後さまざまな場所に赴き、調査していきます。

「諸案附込明細帳」内藤庄左衛門家所蔵



関岩瀬文庫 (☎56・2459)

月刊!! スポーツにしお

Vol.39

少年少女ソフトボール教室

ソフトボールは老若男女を問わず、幅広い年齢層に親しまれるスポーツです。創立42年目を迎える市ソフトボール協会は、特に青少年の育成に力を注いでいます。

30年度の登録は89チーム、1555人。男子は西尾リーグ・吉良夜間・壮年・シニア・小学生男子の5部門、女子はレディース・エルダー・エルデスト・高校生女子・中学生女子の5部門が、年間を通して活動しています。

プレーしています。

今年度も恒例の「少年少女ソフトボール教室」を開催します。7月20日～8月24日の毎週金曜日、午後7時～8時30分に坂田グラウンドで開催（8月10日・17日を除く）。小学1～6年生の女子と小学1～3年生の男子を対象で、参加は無料、定員は計30人を予定。保護者の送迎が必要です。日本スポーツ協会公認のソフトボール指導員が指導します。29年度は下村さんも特別指導員として参加してくれました。



29年7月、アメリカのフロリダ州で開催された世界女子ジュニアソフトボール選手権大会に、19歳以下の日本代表として下村歩実さん（一色町）が選ばれ、2番ライトで出場。チームは見事準優勝を果たしました。小学1年生からソフトボールを始めた下村さんは、一色中学校から東海学園高校（名古屋市）に進学し、日本代表に選出。現在は、日本代表を目指し、園田学園女子大学（兵庫県尼崎市）で

奮って参加してください。

関市ソフトボール協会 織田(☎090・6362・0017/一色町) スポーツ課振興担当 (☎54・00002/総合体育館内)

西尾市のデータ

■人口



	5月1日現在	前月比
男性	87,055人	-13人
女性	84,817人	-14人
計	171,872人	-27人
世帯数	63,823世帯	+169世帯

■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		死者	死者
4月	44件	51人	2人
30年累計	229件	275人	2人

■犯罪発生状況



	刑犯総数	侵入盗	特殊詐欺
4月	53件	4件	0件
30年累計 (被害総額)	224件	35件	3件 218万3千円

■消防の状況



	火災	救助	救急
4月	5件	4件	477件
30年累計	19件	12件	2,260件

今月の表紙

えびせんべいを製造する(株)中村製菓(市子町)の従業員の皆さんです。市内に点在するえびせんべいの製造現場では、若者から年配の方まで多くの女性が活躍。取材先で見掛けたいきいきと作業する姿が印象的でした。今号では、2月に地域ブランドに登録された「三河一色えびせんべい」を紹介します。

編集雑記

サッカーの祭典ワールドカップ(W杯)ロシア大会がいよいよ開幕します。直前の監督交代というハプニングを乗り越えて本番に挑む日本代表。下馬評は決して高くないかもしれませんが、底力を見せてもらいたところ。開催国のロシアは国土が広く、会場によって日本との時差はまちまちですが、いずれの試合も午後9時から深夜にかけて始まります。サッカーファンの皆さんは寝不足の日々が続きますが、体調管理に気を付けて応援しましょう。(石)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●吉良中学校

4月19日に、自転車通学を始めたばかりの1年生を対象に交通安全が行われました。横断歩道や踏切を想定した校内の特設コースを自転車で走り、交通ルールなどを改めて確認していました。



●佐久島小学校

地震・津波避難訓練が4月19日に行われました。訓練放送が流れ、机の下に隠れた後、津波の到来を想定し裏山に移動。救命胴衣を協力して着用するなど、素早く静かに行動していました。



●三和小学校

5月2日、児童会主催の1年生を迎える会が行われました。1年生の元気良い自己紹介の後、ゆるキャラの三つくん・和つくんも登場し、クイズで大盛り上がり。楽しいひとときを過ごしていました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。